

令和7年度

中学生チャレンジテスト — 結果概要 —

交野市教育委員会
学校教育課

調査概要

目的

- 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒の課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。加えて、調査結果を活用し、**大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、**市町村教育委員会及び学校に提供する。
- 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組みを通じて、**学力向上のためのPDCAサイクルを確立**する。
- 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への**教育指導の改善を図る**。
- 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、**自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める**。

調査対象

府内の市町村立中学校、義務教育学校後期課程及び支援学校中学部並びに府立中学校及び支援学校中学部（学校）の第1学年、第2学年、第3学年

調査実施日

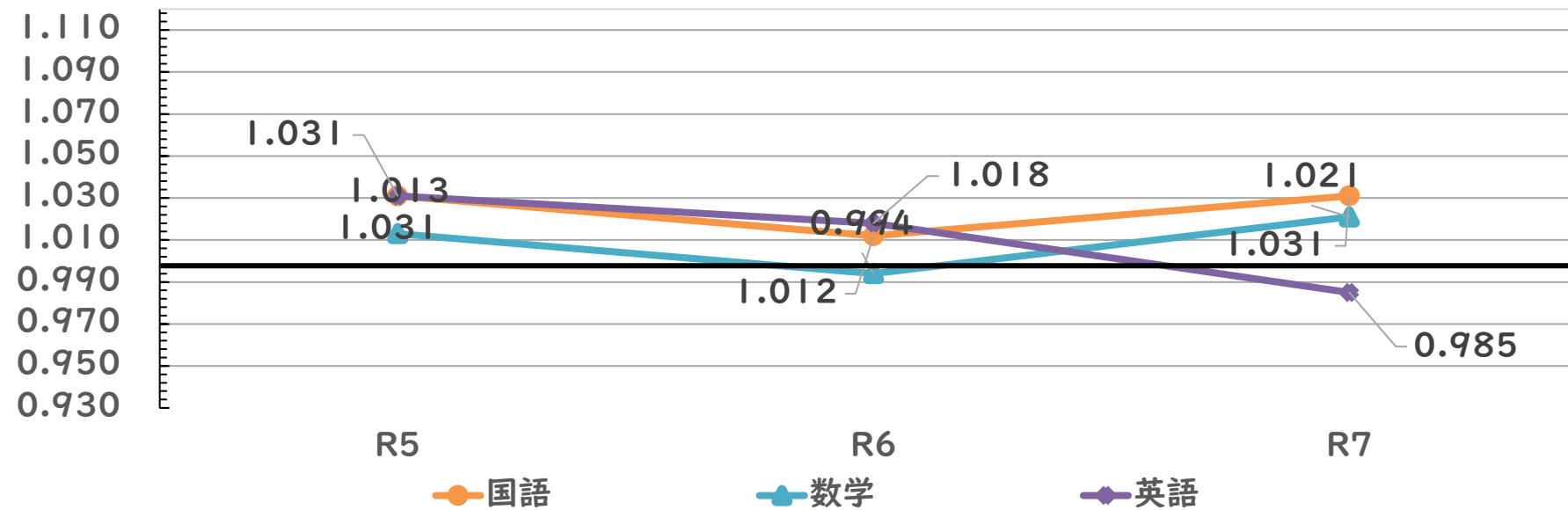
第1学年及び第2学年：令和8年1月14日（水）
第3学年：令和7年9月2日（火）

調査の内容

第1学年：国語、数学、英語及び生徒に対するアンケート
第2学年及び第3学年：国語、社会、数学、理科、英語及び生徒に対するアンケート

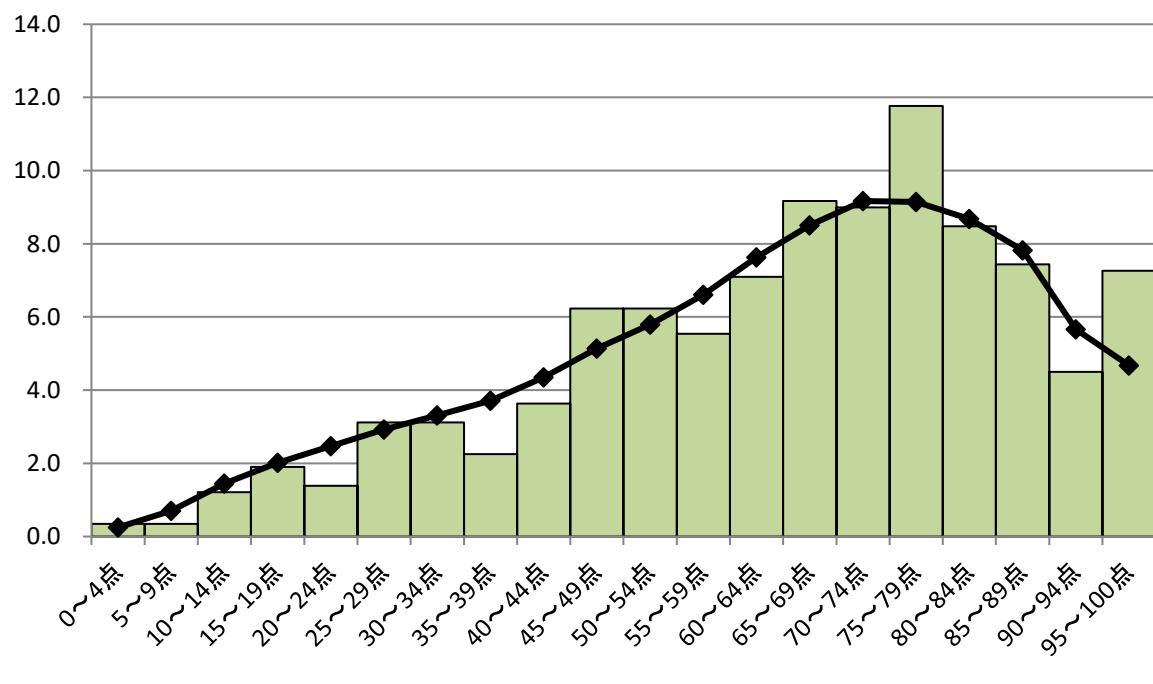
1年生 調査結果

1年生 (平均点)	対府比			
	交野市	大阪府	対府比	
	国語	65.0	63.1	1.031
	数学	57.9	56.7	1.021
英語	64.2	65.2	0.985	

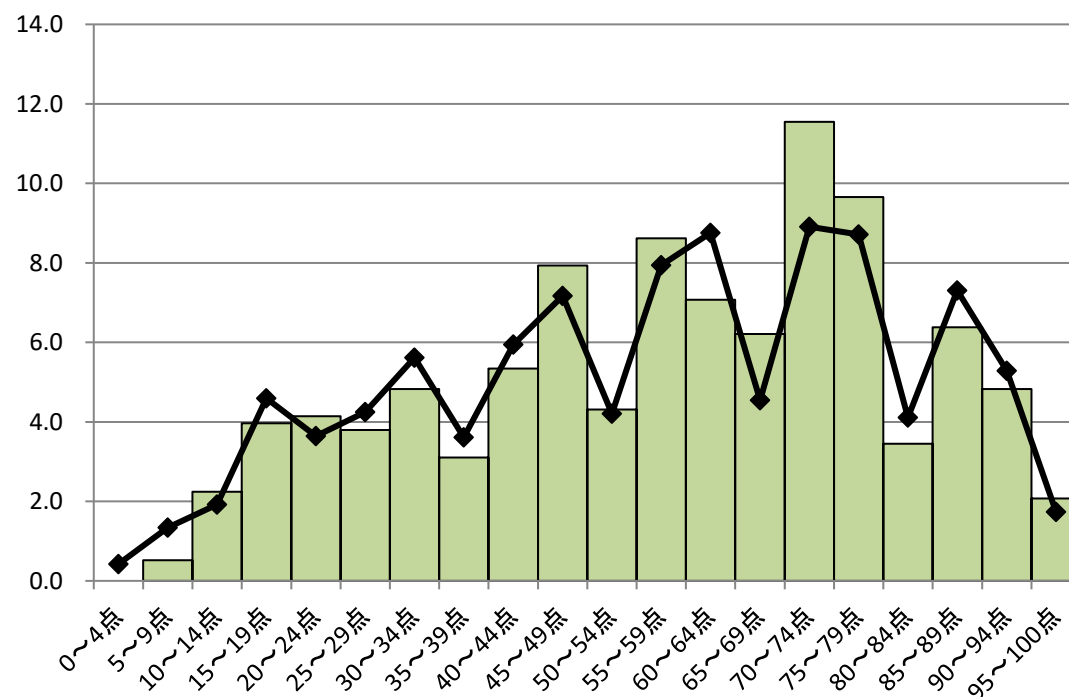


交野市
大阪府

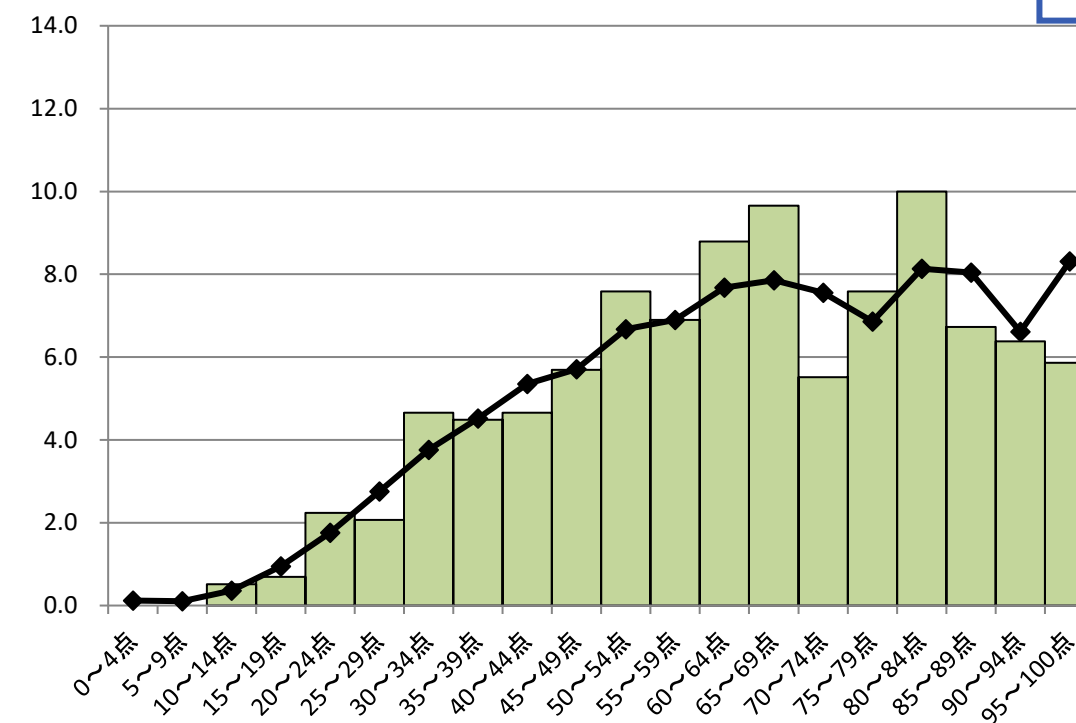
【国語】



【数学】



【英語】



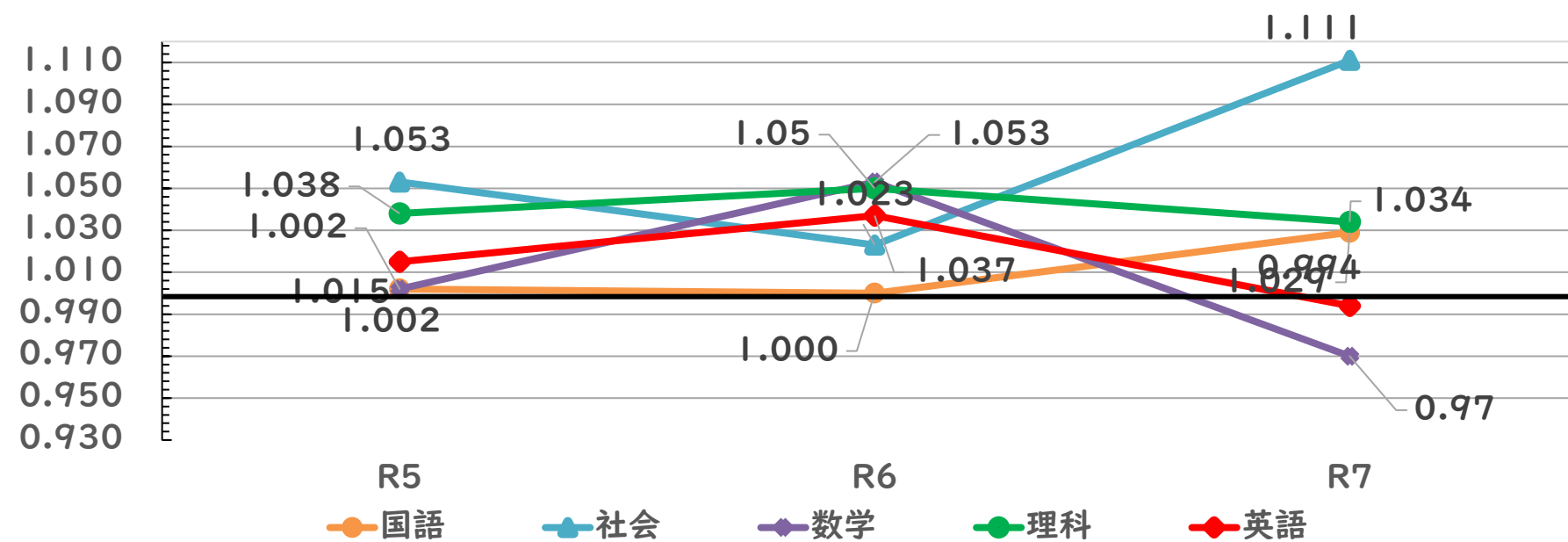
	得点率					
	言葉の特徴や使い方に関する事項	情報の扱い方に関する事項	我が国の言語文化に関する事項	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
交野市	70.3	62.6	58.3	60.7	62.6	64.6
大阪府	68.6	60.5	56.3	58.4	60.2	63.0

	得点率		
	数と式	図形	関数
交野市	58.7	55.1	58.2
大阪府	56.8	56.4	58.7

	得点率		
	聞くこと	読むこと	書くこと
交野市	76.6	61.2	54.2
大阪府	77.0	61.6	56.6

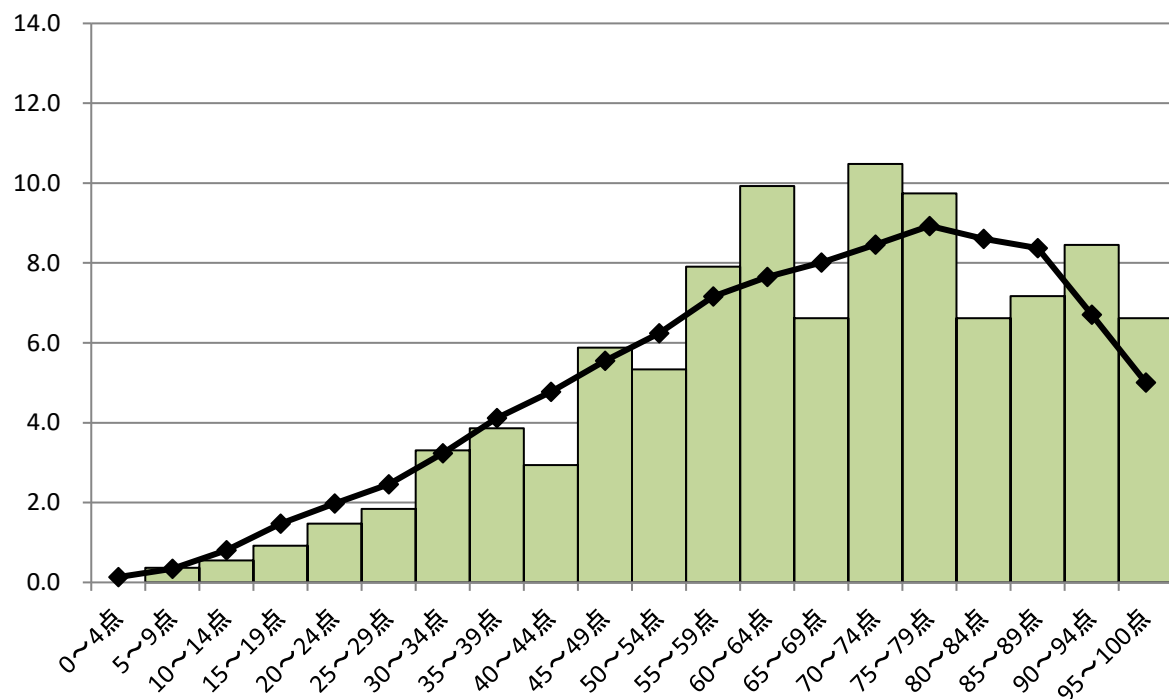
2年生 調査結果①

2年生 (平均点)		交野市	大阪府	対府比
	国語	66.3	64.5	1.029
	社会	49.2	44.3	1.111
	数学	53.4	55.0	0.970
	理科	48.3	46.7	1.034
	英語	51.5	51.8	0.994

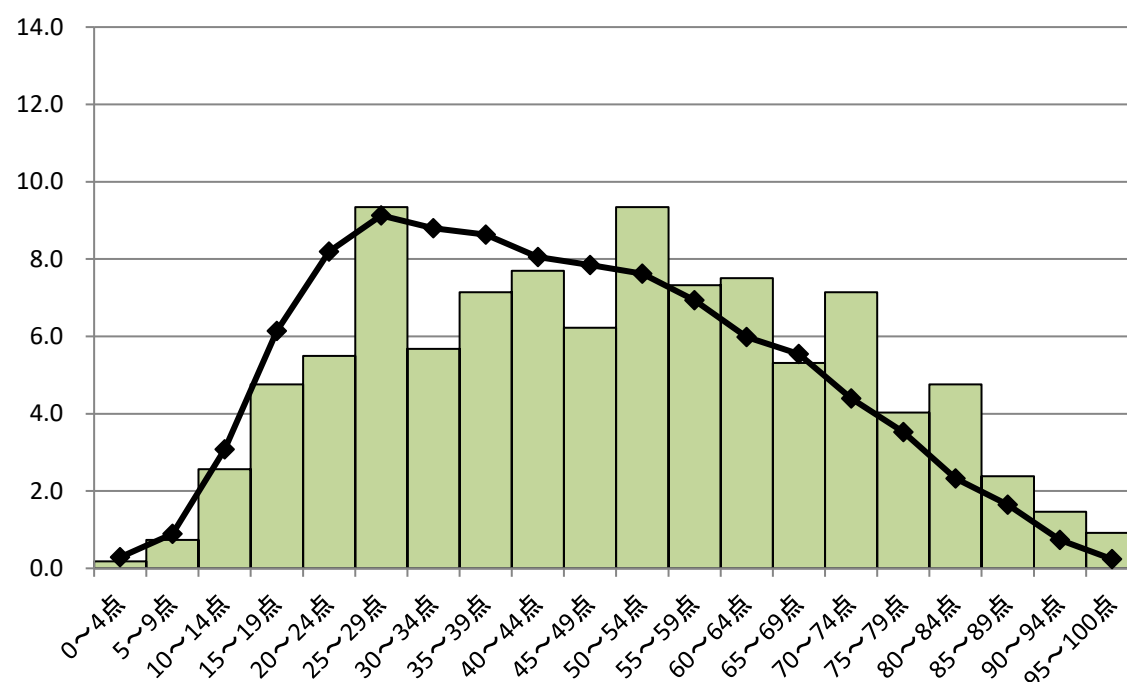


交野市
大阪府

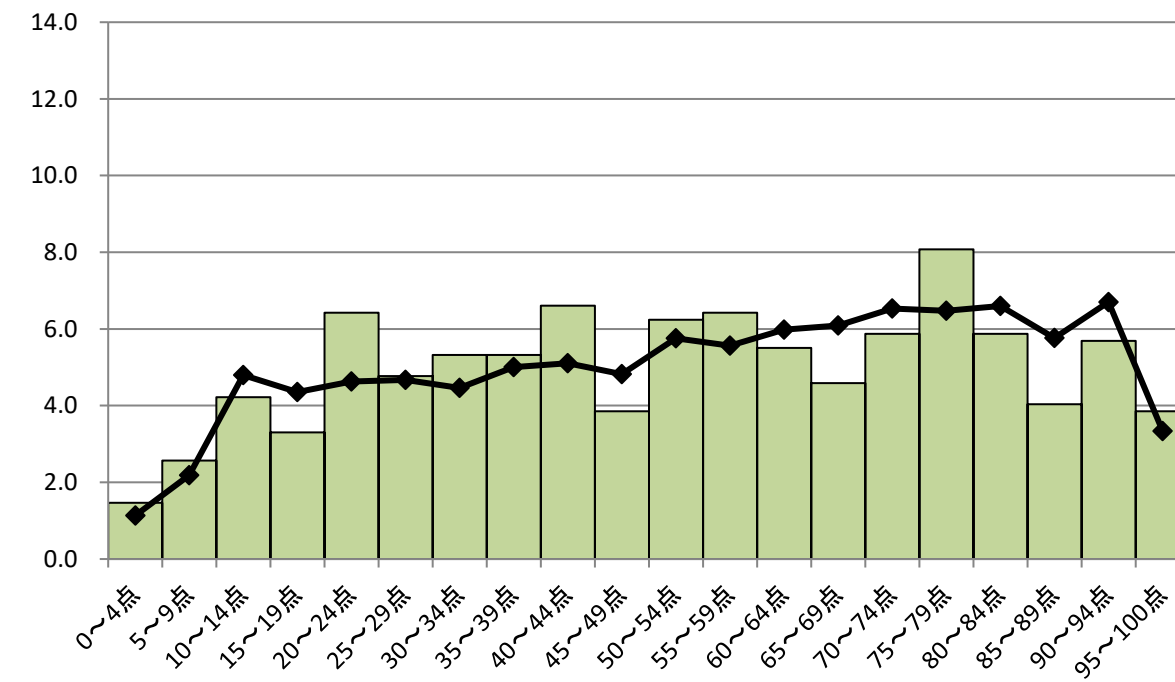
【国語】



【社会】



【数学】



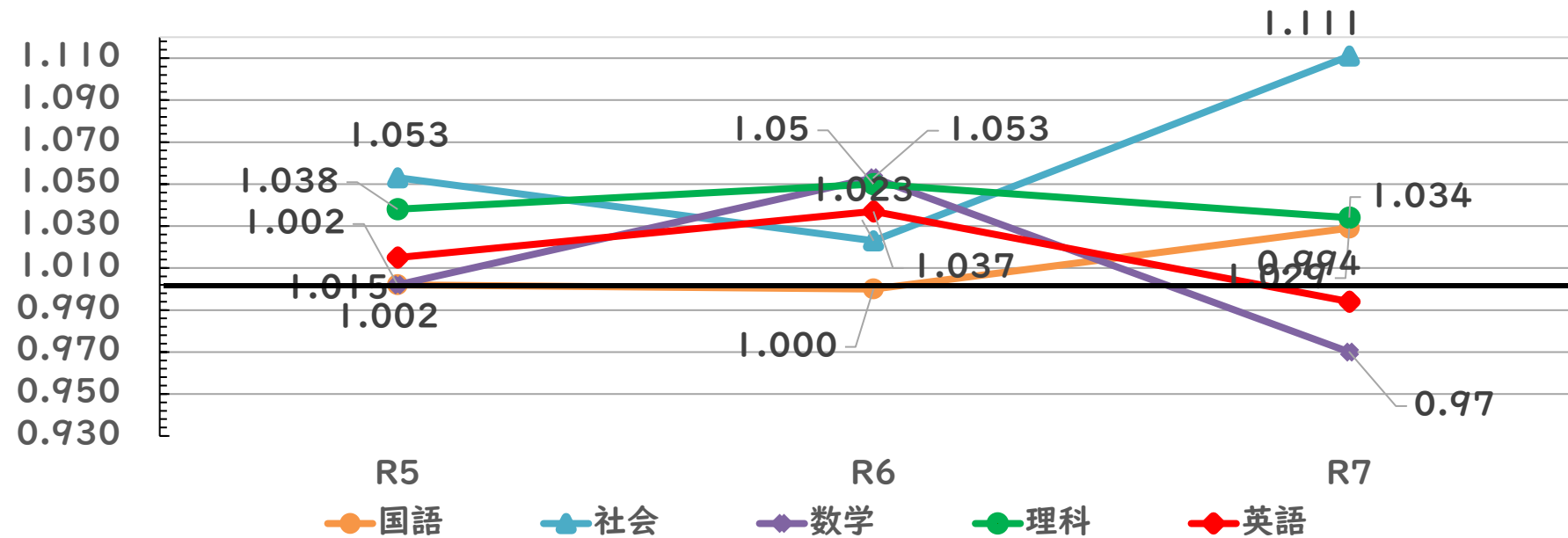
	得点率					
	言葉の特徴や使い方に関する事項	情報の扱い方に関する事項	我が国の言語文化に関する事項	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
交野市	67.2	61.8	57.6	63.5	73.4	64.2
大阪府	66.3	59.5	54.0	60.9	71.2	62.9

	得点率	
	地理的分野	歴史的分野
交野市	47.3	51.4
大阪府	42.8	46.0

	得点率		
	数と式	図形	関数
交野市	56.4	53.9	49.4
大阪府	56.9	57.7	50.4

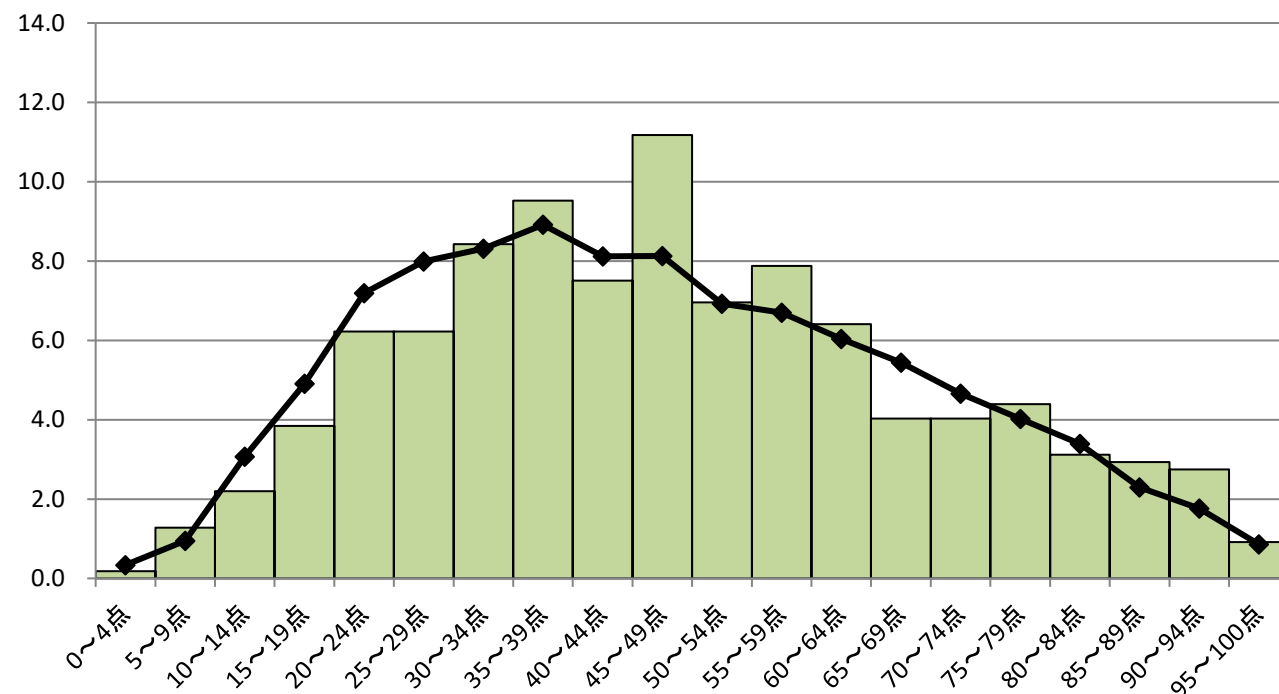
2年生 調査結果②

2年生 (平均点)		交野市	大阪府	対府比
	国語	66.3	64.5	1.029
	社会	49.2	44.3	1.111
	数学	53.4	55.0	0.970
	理科	48.3	46.7	1.034
	英語	51.5	51.8	0.994



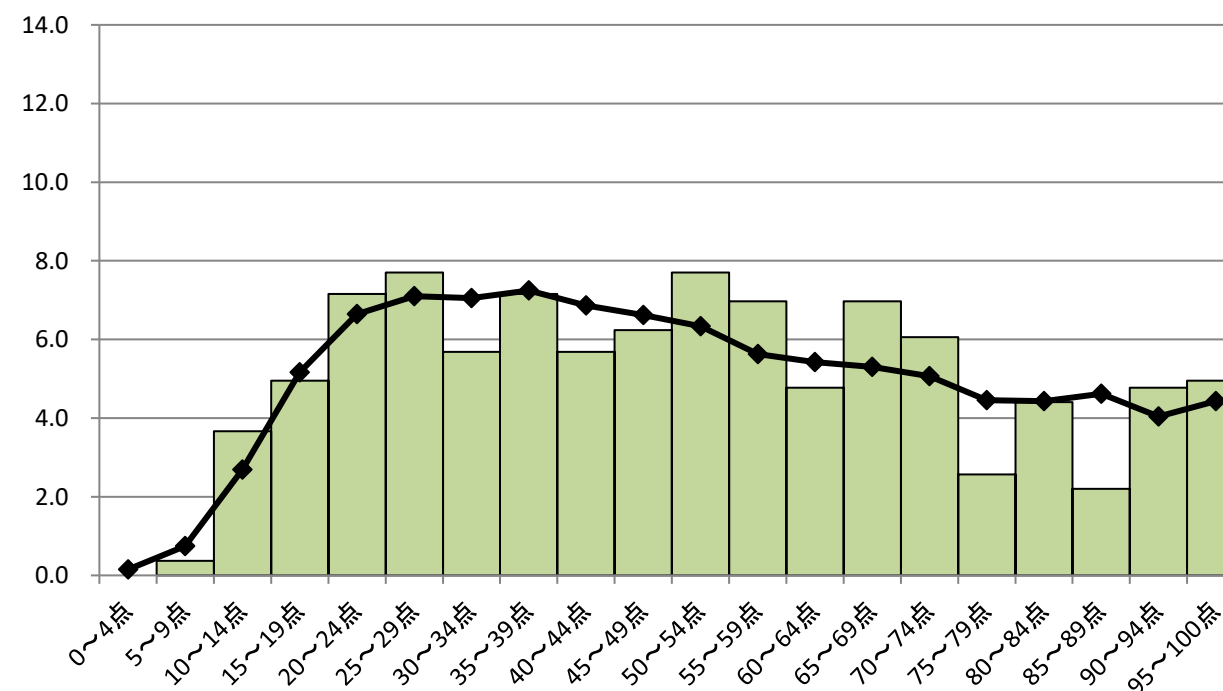
交野市
大阪府

【理科】



	得点率		
	粒子	生命	地球
交野市	48.7	49.8	44.5
大阪府	45.4	49.1	44.5

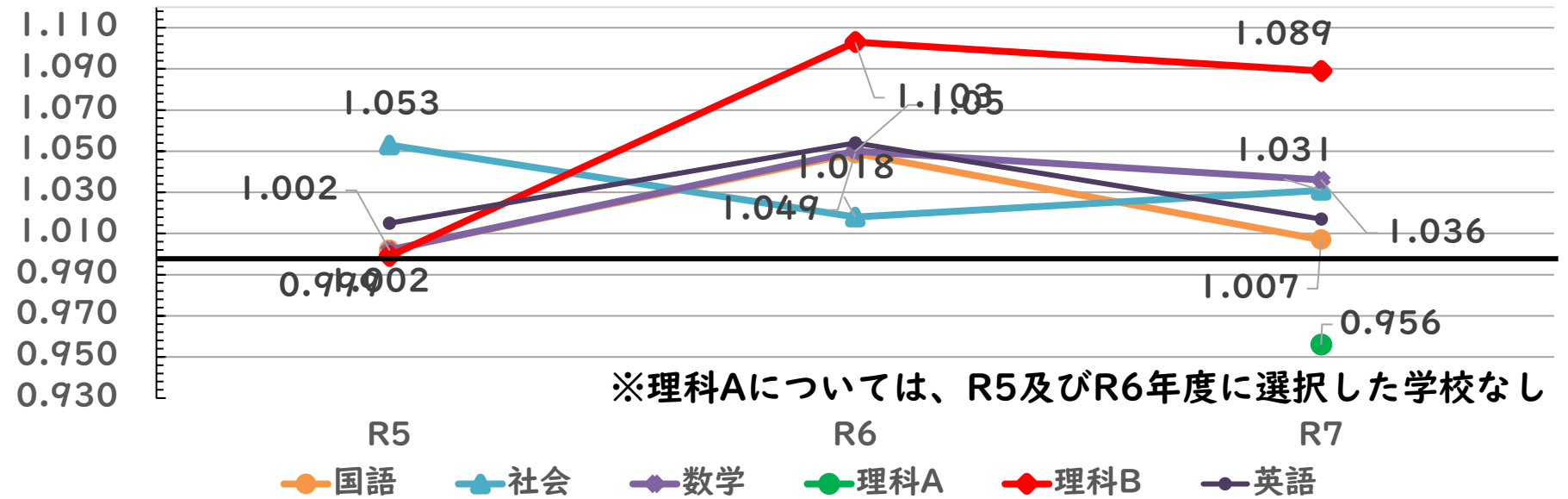
【英語】



	得点率		
	聞くこと	読むこと	書くこと
交野市	64.8	48.4	45.0
大阪府	65.7	47.7	45.6

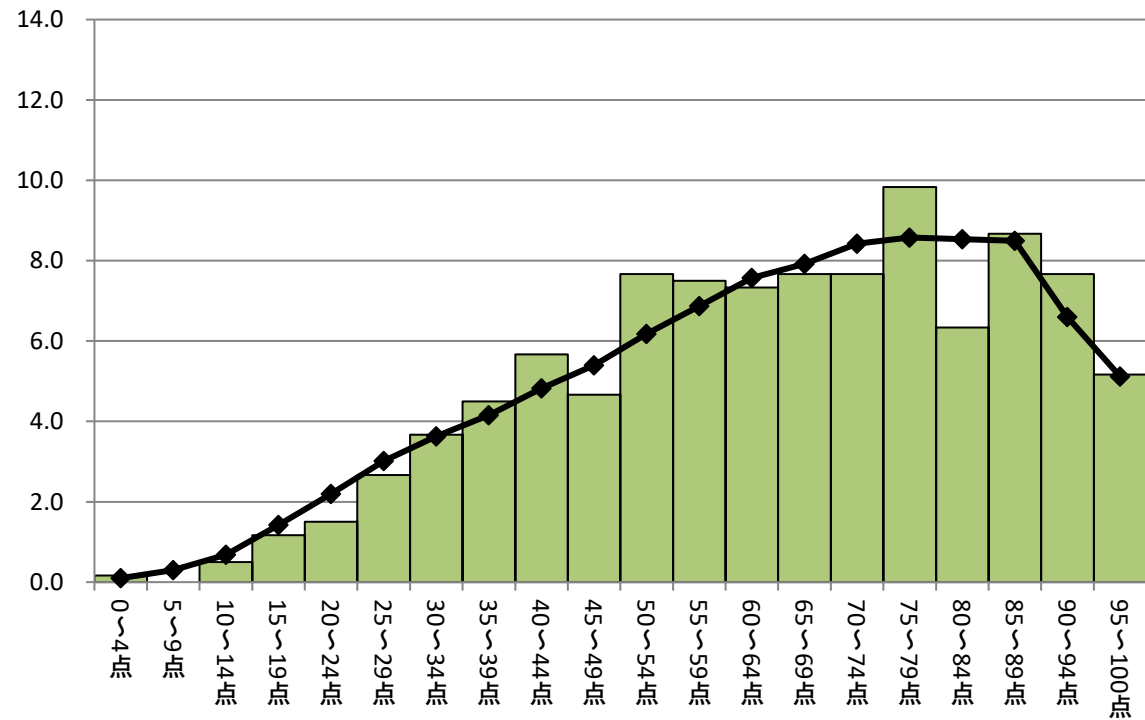
3年生 調査結果①

3年生 (平均点)		交野市	大阪府	対府比
	国語	64.6	64.2	1.007
	社会	52.8	51.2	1.031
	数学	55.9	53.9	1.036
	理科A	46.0	48.1	0.956
	理科B	50.1	46.0	1.089
	英語	54.1	53.2	1.018

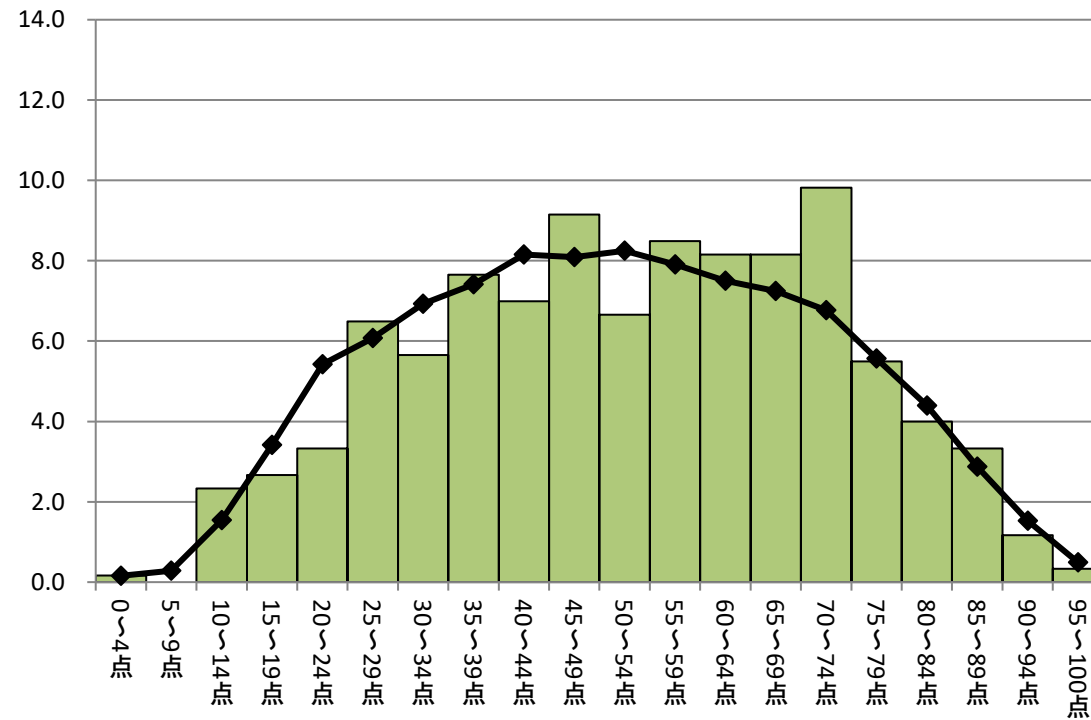


交野市
大阪府

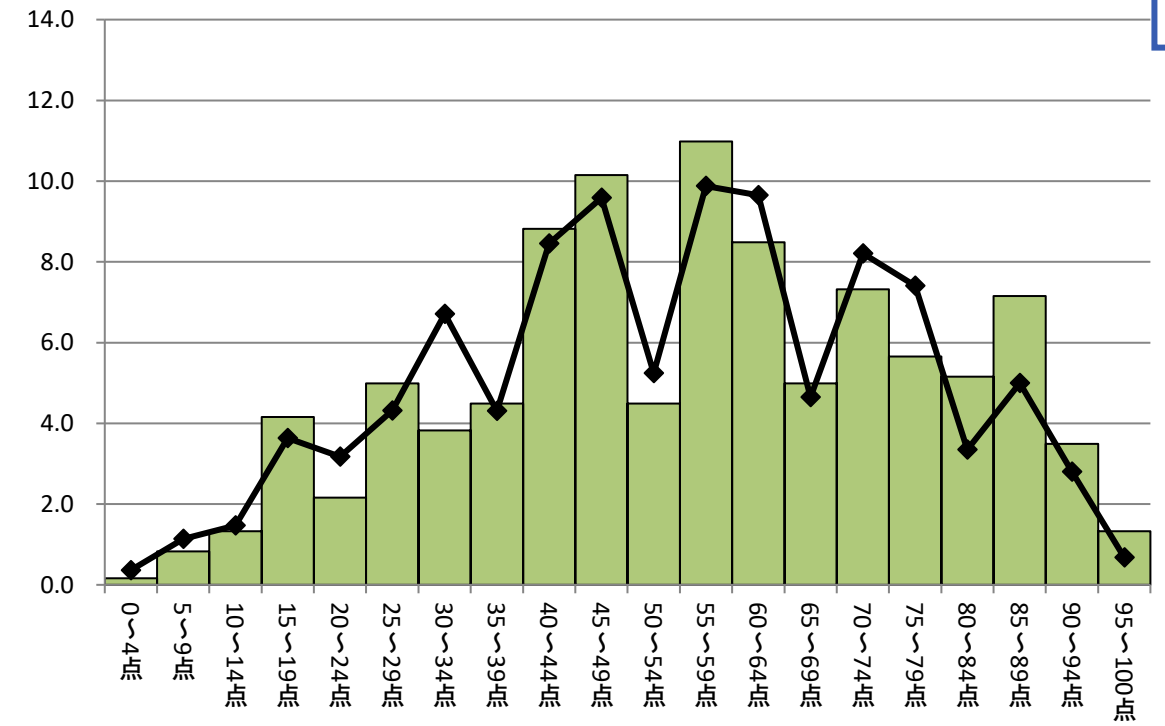
【国語】



【社会】



【数学】



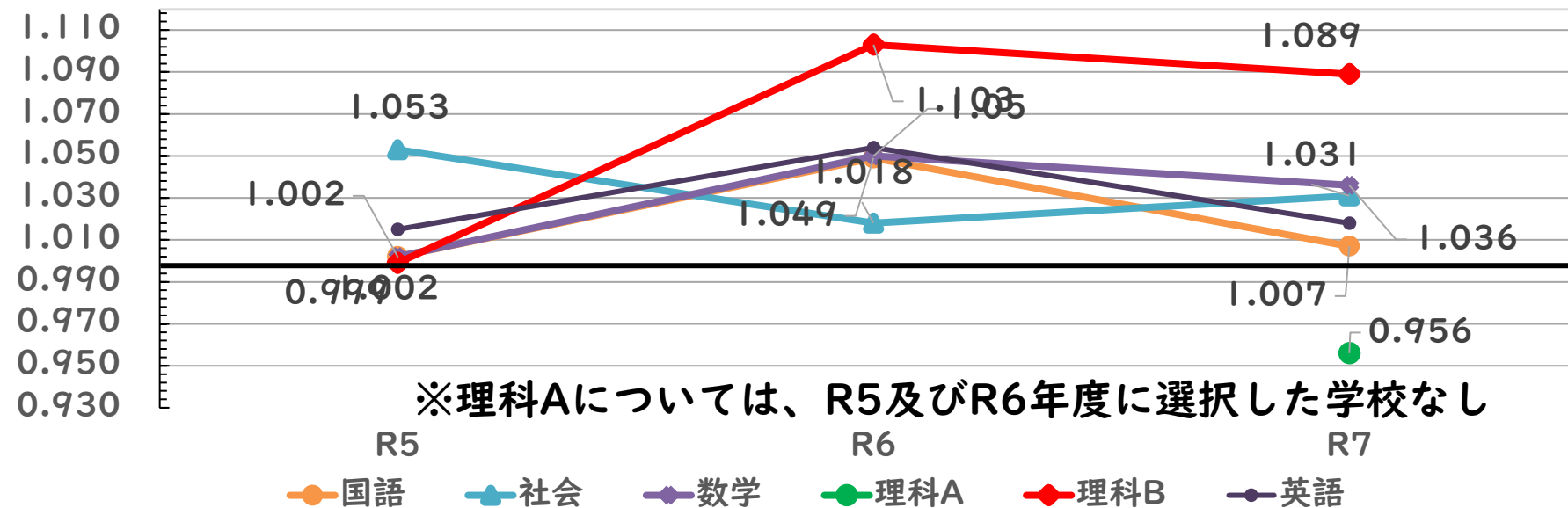
	得点率					
	言葉の特徴や使い方に関する事項	情報の扱い方に関する事項	我が国の言語文化に関する事項	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
交野市	86.7	50.4	55.0	60.0	72.7	54.8
大阪府	84.3	49.5	54.6	60.8	71.0	55.4

	得点率	
	地理的分野	歴史的分野
交野市	52.1	53.5
大阪府	51.6	50.8

	得点率			
	数と式	図形	関数	データの活用
交野市	58.3	63.0	45.7	56.8
大阪府	57.2	62.5	43.5	51.6

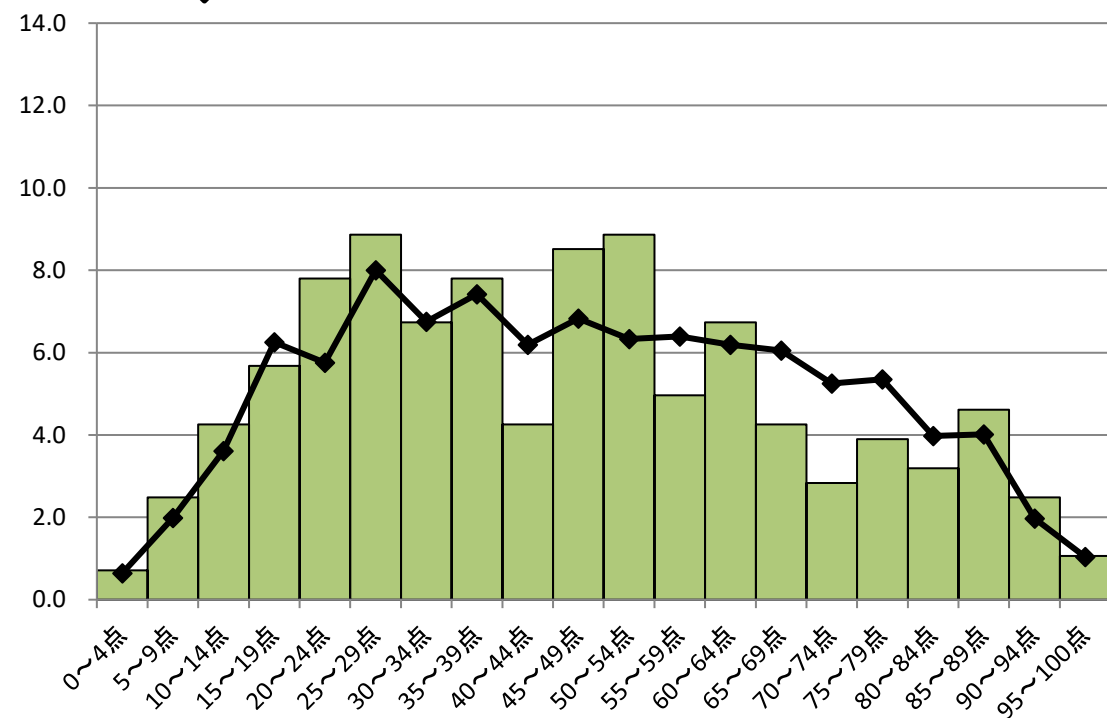
3年生 調査結果②

3年生 (平均点)		交野市	大阪府	対府比
	国語	64.6	64.2	1.007
	社会	52.8	51.2	1.031
	数学	55.9	53.9	1.036
	理科A	46.0	48.1	0.956
	理科B	50.1	46.0	1.089
	英語	54.1	53.2	1.018



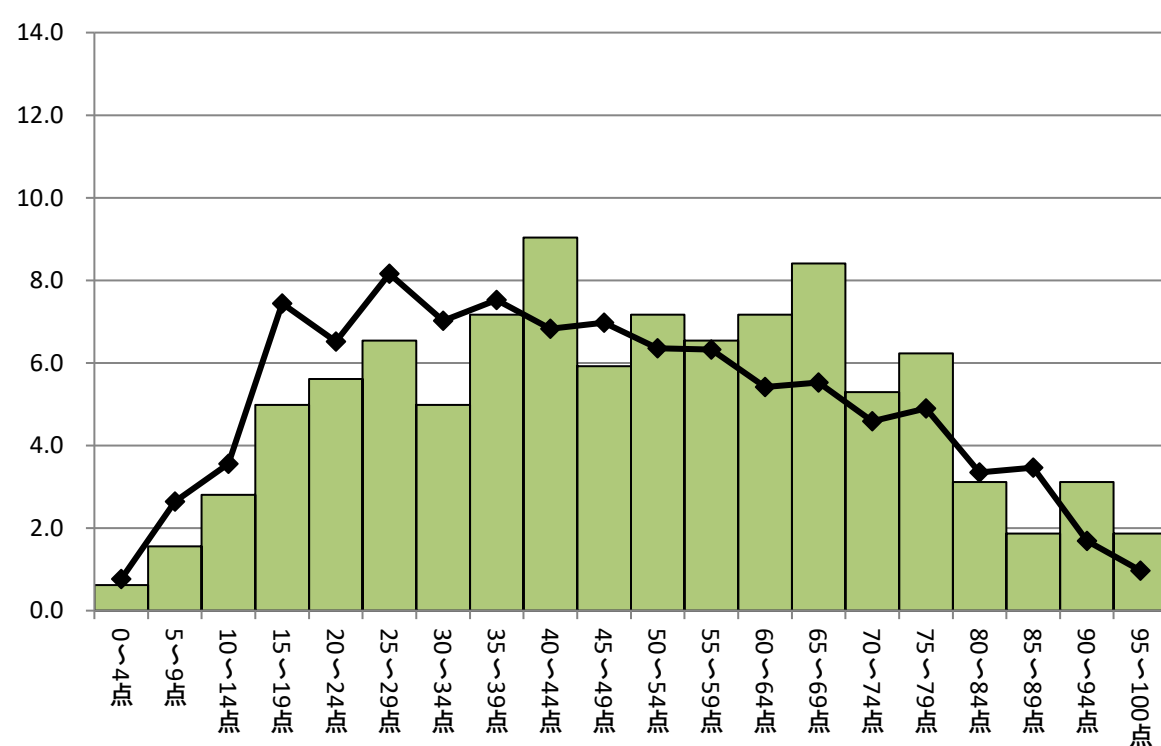
交野市
大阪府

【理科A】



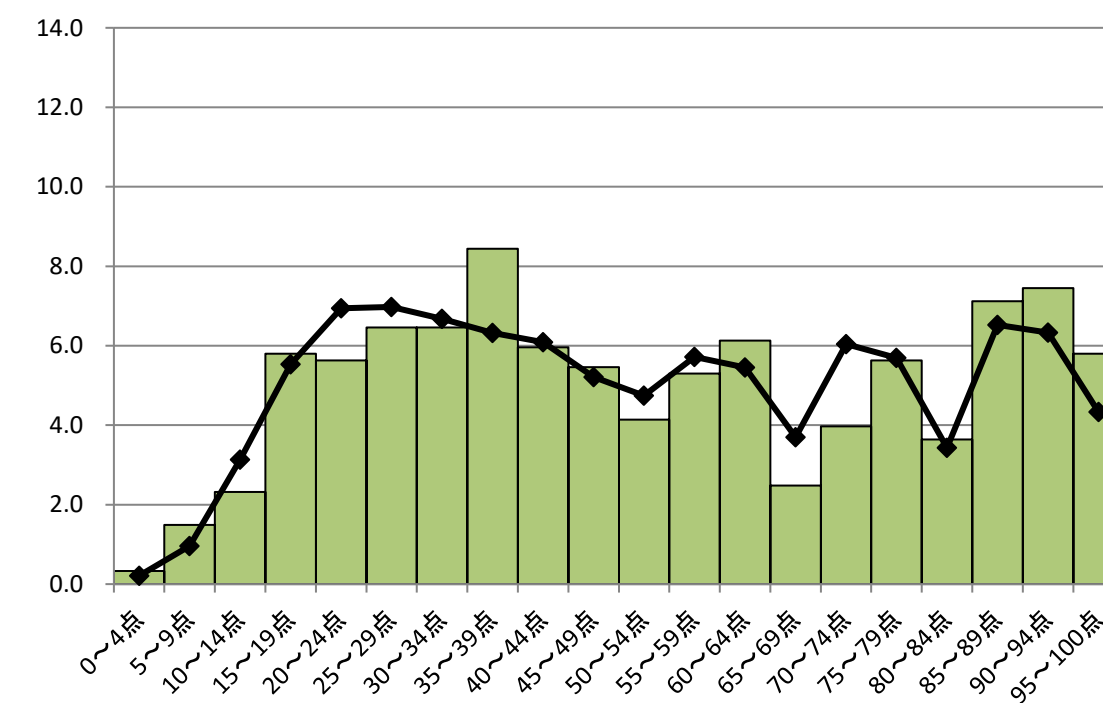
	得点率			
	エネルギー	粒子	生命	地球
交野市	40.6	44.3	55.5	45.3
大阪府	41.8	46.7	57.2	48.1

【理科B】



	得点率			
	エネルギー	粒子	生命	地球
交野市	41.2	41.5	57.1	53.8
大阪府	40.5	36.5	53.6	45.9

【英語】



	得点率		
	聞くこと	読むこと	書くこと
交野市	59.9	50.1	53.6
大阪府	61.0	50.0	50.8

課題の見られた問題(1年生)

英語 5(3) 書くこと

5 次の(1)～(5)はAとBの会話です。()に入る英語として最も適しているものを、あとのア～エからそれぞれ1つずつ選びなさい。

(3) A : Do you play tennis with her?

B : Yes. She () it, and I sometimes play it with her.

ア don't play

イ play

ウ like

エ likes

◆会話文の空欄に入る適切な語句(3人称単数現在の平叙文)を選ぶ。

●正答率 28.3% (府 : 39.3%)

●無解答率 0.2% (府 : 0.4%)

イを選択した生徒が58.3%

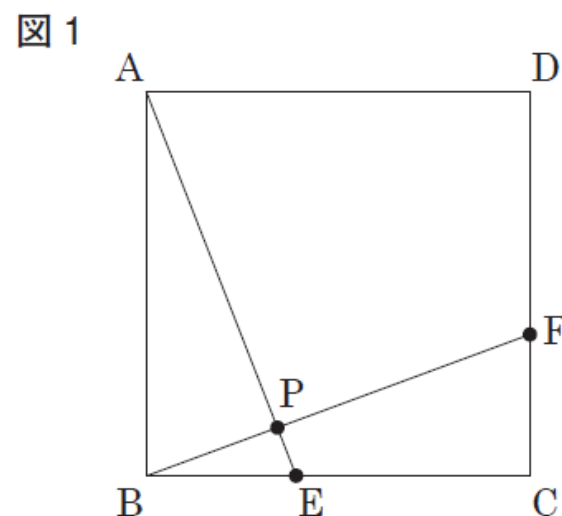
3人称単数現在形の文法事項を理解し、文脈に応じて適切な語句を選択することに課題が見られた。

課題の見られた問題(2年生)

数学 6 (1) 図形

6 4つの角がすべて等しく、4つの辺がすべて等しい四角形 ABCD があります。

図1のように、四角形 ABCD の辺 BC、CD 上に $BE = CF$ となる点 E、F をそれぞれとります。また、線分 AE と線分 BF の交点を P とします。ただし、点 E は点 B、C と、点 F は点 C、D と、それぞれ重ならないものとしします。



◆2つの角の大きさが等しいことを、**三角形の合同を利用して証明**する。

●正答率 18.9% (府: 27.4%)

●無解答率 15.6% (府: 15.0%)

三角形の合同条件を適切に用いて、根拠を明確にしながら論理的に証明することに課題が見られた。

(1) 図1において、 $\triangle ABE \equiv \triangle BCF$ を示すことで、 $\angle BAE = \angle CBF$ であることが証明できます。

証明中の **ア**、**イ** には当てはまる式を、**ウ** には当てはまる合同条件を、**エ** には当てはまることばを入れて、証明を完成しなさい。

証明

$\triangle ABE$ と $\triangle BCF$ において、
四角形 ABCD の4つの辺はすべて等しいので、
ア ①
四角形 ABCD の4つの角はすべて等しいので、
イ ②
仮定より、
 $BE = CF$ ③
①、②、③より、**ウ** ので、
 $\triangle ABE \equiv \triangle BCF$
合同な図形の **エ** は等しいので、
 $\angle BAE = \angle CBF$

課題の見られた問題(2年生)

英語 5(4) 書くこと

- 5 カナコ (Kanako) は、冬休み (winter vacation) に日本に来るローザ (Rosa) を人気のパンケーキ (pancake) レストランに誘うため、Eメールを書くことにしました。カナコは、まず日本語で下書きをし、次にそれを英語に書きなおして、Eメールをローザに送りました。【下書き】の内容と合うように【Eメール】中の下線部(1)～(4)に、それぞれ指示された語数の英語を入れて、【Eメール】を完成させなさい。

【下書き】

- ・あなたはパンケーキが好きですか。私はパンケーキがとても好きです。あなたの国で、パンケーキは人気がありますか。パンケーキは日本で人気があります。私の町には素敵なパンケーキレストランがあります。そのレストランでは私たちはパンケーキをホイップクリームやアイスクリームや果物とともに食べることができます。そのレストランはとても有名で、多くの人々がパンケーキを食べるために行列を作ります。
- ・私は、あなたと一緒においしいパンケーキを食べたいです。この冬休みに、あなたはそのレストランに私と一緒に行くことができますか。行列に並んで待つことになるでしょう。一緒に話すことを楽しみましょう。そのレストランでパンケーキを食べたら、私たちは幸せになるでしょう。

【Eメール】

Tuesday, November 23

*From Kanako to Rosa

Hello, Rosa.

Do you like pancakes? I like them very much. Are pancakes popular in your country? They are popular in Japan. There is a nice pancake restaurant in my town. At the restaurant, we can eat pancakes with *whipped cream, ice cream, and *fruits. The restaurant is very famous, and many people make *long lines (1) (2語) pancakes.

I want to eat delicious pancakes with you. In this winter vacation, (2) (2語) go to the restaurant with me? We will wait *in a long line. (3) (3語) together. If we eat pancakes at the restaurant, we (4) (3語).

Kanako

◆下書きの内容と合うように、Eメールの下線部(4)に英語3語を書く。(will be happy)

●正答率 25.5% (府：30.1%)

●無解答率 25.1% (府：25.7%)

文脈に即して必要な語を選択し、語数の条件を満たしながら文法的に正しい英文を構成することに課題がみられた。

課題の見られた問題(3年生)

国語 四 6(2) 書くこと

- ◆【各校の取り組みの報告】及び【質疑応答の一部】の内容をふまえて書く。
- ◆前後の文章に合わせて15字以上35字以内で書く。

- 正答率 24.2% (府：27.0%)
- 無解答率 29.7% (府：35.5%)

複数の資料から、目的や意図に応じて根拠となる部分を明確にし、条件を踏まえてまとめることに課題が見られた。

6 北中学校の田中さんは、オンライン会議の内容を、後日、生徒会役員会で報告します。あなたが田中さんなどのように話しますか。次の【報告の一部】中のA、Bに入る内容について、あとの(1)、(2)の問いに答えなさい。

【報告の一部】

オンライン会議での情報交換で、南中学校ではAという工夫をしていることがわかり、興味深かったです。

また、西中学校の報告を聞いて、本校でも取り入れてはどうかと考えたのは、Bということです。本校でも三学年合同グループの活動は行っていますが、西中学校のような活動を取り入れることで異学年交流がより充実していくのではないかと考えました。



北中学校
田中さん

(1) Aに入る適切な内容を、「質疑応答の一部」中から二十四字で探し、初めの四字をぬき出しなさい。

(2) Bに入る適切な内容を、「各校の取り組みの報告」および「質疑応答の一部」の内容をふまえて、後の文脈に合わせて十五字以上、三十五字以内で書きなさい。

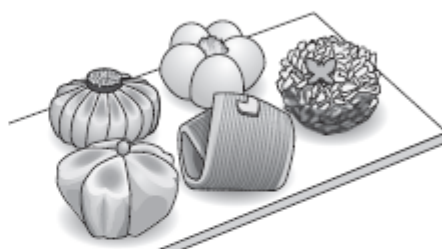
課題の見られた問題(3年生)

数学 7 (3) 関数

- 7 ある和菓子店が、「和菓子作り体験」の催しを行います。
表は、「和菓子作り体験」の支出と収入をまとめたものです。会場費は、参加者数にかかわらず一定の金額です。

表

		金額
支出	会場費	20000円
	材料費	参加者1人あたり800円
収入	参加費	参加者1人あたり1600円



支出総額は式1で、収入総額は式2で、それぞれ求めることができます。

式1

$$\text{(支出総額)} = 20000 + 800 \times \text{(参加者数)}$$

式2

$$\text{(収入総額)} = 1600 \times \text{(参加者数)}$$

◆グラフの交点の座標から読み取れることを、事象に即して説明する。

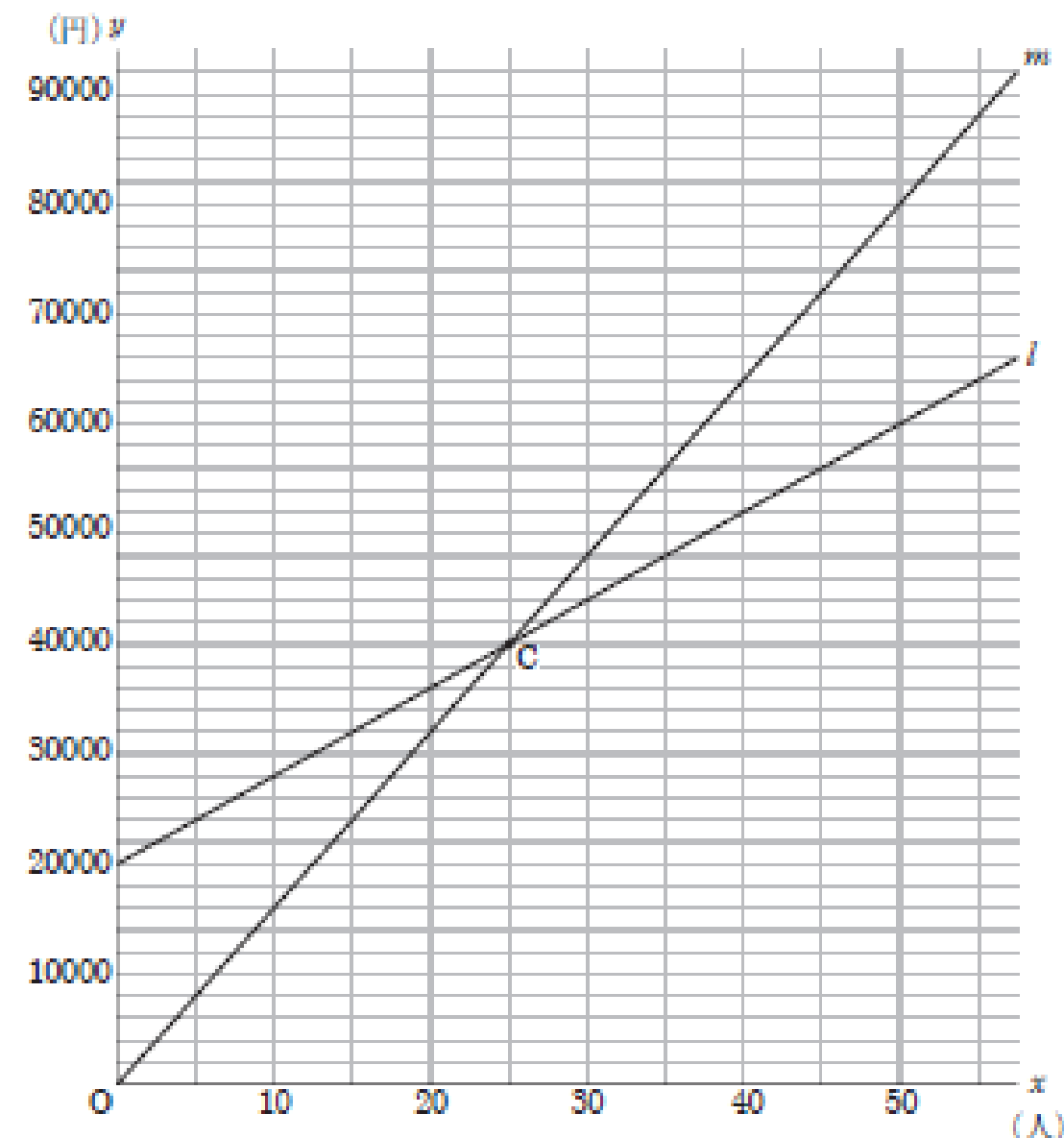
●正答率 19.1% (府: 20.1%)

●無解答率 57.2% (府: 58.7%)

それぞれの関数やグラフの交点が表す意味を捉え、説明することに課題が見られた。

- (3) 図2は、図1に直線 m をかき加えたもので、直線 m は、参加者数が x 人のときの収入総額を y 円として、 x と y の関係を表したものです。直線 l と直線 m は点 C (25, 40000) で交わります。

図2



収入総額と支出総額について、図2の直線 l 、直線 m の交点 C の座標から読み取れることを、交点 C の x 座標、 y 座標の両方の値を用いて説明しなさい。

課題の見られた問題(3年生)

英語 2 (2) リスニング問題

- 2] クミコは、留学先の学校の校外学習で、市立動物園 (City Zoo) に来ました。動物園前の広場で、クミコはグリーン先生 (Ms. Green) から今日の学習の流れについて説明を聞いています。放送されるグリーン先生の説明について、【質問】の答えとして最も適しているものを、あとのア～エからそれぞれ1つずつ選びなさい。

【質問】

- (1) What animals can the students watch in Place C?
- ア Bears.
 - イ Tigers.
 - ウ Pandas.
 - エ Three kinds of animals.
- (2) Where will the students show Ms. Green their answers of the two questions?
- ア In Place A.
 - イ In Place B.
 - ウ In Place C.
 - エ In the zoo restaurant.

◆説明を聞き、説明の概要を捉えて、内容の要点を適切に把握する。

●正答率 66.6% (府：72.1%)

●無解答率 0.3% (府：0.3%)

まとまりのある内容を、要点をおさえながら聞くことに課題が見られた。

課題の見られた問題の傾向

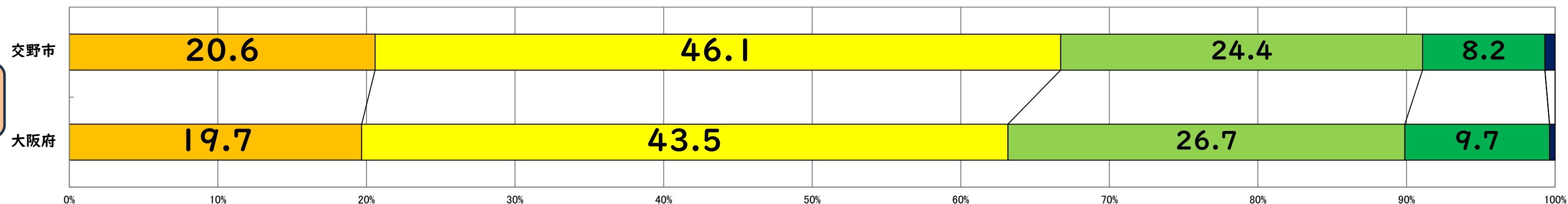
教科	出題の趣旨
国語	<ul style="list-style-type: none">● 目的や意図に応じて伝えたいことを根拠を明確にして話すことができる。(話すこと・聞くこと 思考・判断・表現 記述式)
社会	<ul style="list-style-type: none">● 資料に示された情報をもとに考察し、説明することができる。(思考・判断・表現 記述式)
数学	<ul style="list-style-type: none">● 筋道を立てて考え、証明することができる。(図形 知識・技能 短答式)● グラフの交点の座標から読み取れることを事象に即して説明することができる。(関数 思考・判断・表現 記述式)● 見取図に表された立方体の面上の線分の長さの関係を読み取ることができる。(図形 知識・技能 選択式)
理科	<ul style="list-style-type: none">● 海溝について理解している。(地球 知識・技能 短答式)● 音の伝わる速さを求め、花火が開いた位置から人のいる位置までの距離を計算により求めることができる。(エネルギー 思考・判断・表現 短答式)
英語	<ul style="list-style-type: none">● 説明を聞き、説明の概要を捉えて、内容の要点を適切に把握することができる。(聞くこと 思考・判断・表現 選択式)● まとまりのある会話文とグラフを読み、話の概要を捉えて、内容の要点を適切に把握することができる。(読むこと 思考・判断・表現 短答式)● 与えられた情報に基づいて、指示された語数で正しい英文を書くことができる。(書くこと 知識・技能 記述式)

アンケート調査結果より

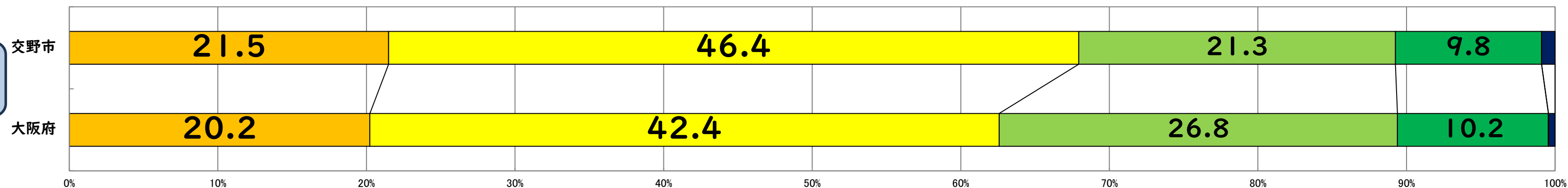
授業中、思考ツールを使うなどして、自分の考えを整理したりまとめたりする場面がある。

■ 1. 当てはまる ■ 2. どちらかといえば、当てはまる ■ 3. どちらかといえば、当てはまらない ■ 4. 当てはまらない □ その他 ■ 無回答

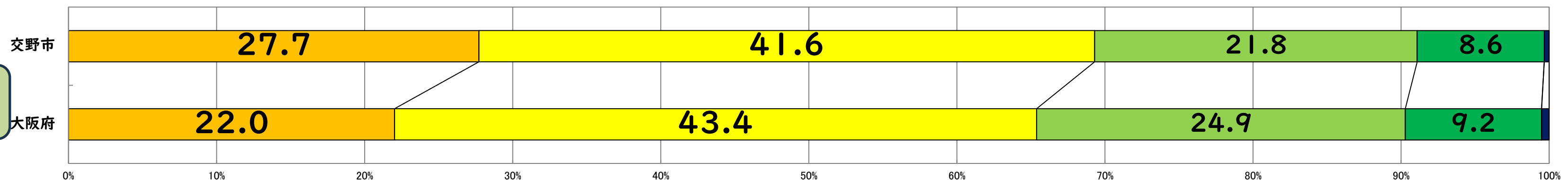
1年生



2年生



3年生

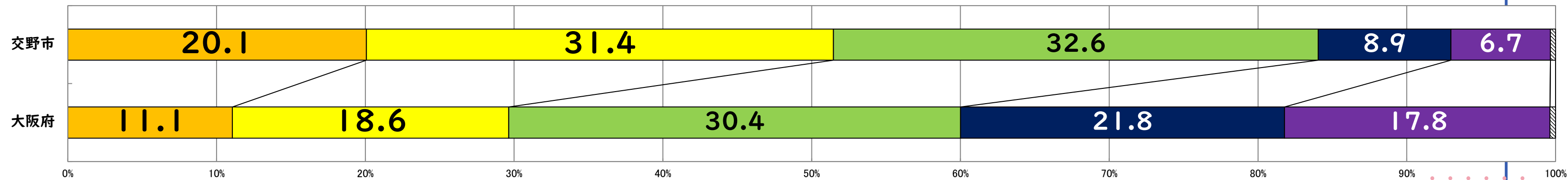


アンケート調査結果より

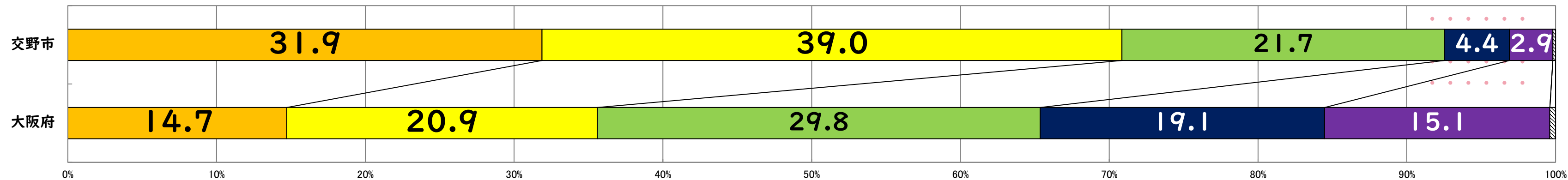
授業中、PC・タブレットを使って、学級の友だちと意見を交換する場面はどれくらいありますか。

■ 1. ほぼ毎日 ■ 2. 週3回以上 ■ 3. 週1回以上 ■ 4. 月1回以上 ■ 5. 月1回より少ない □ その他 ▨ 無回答

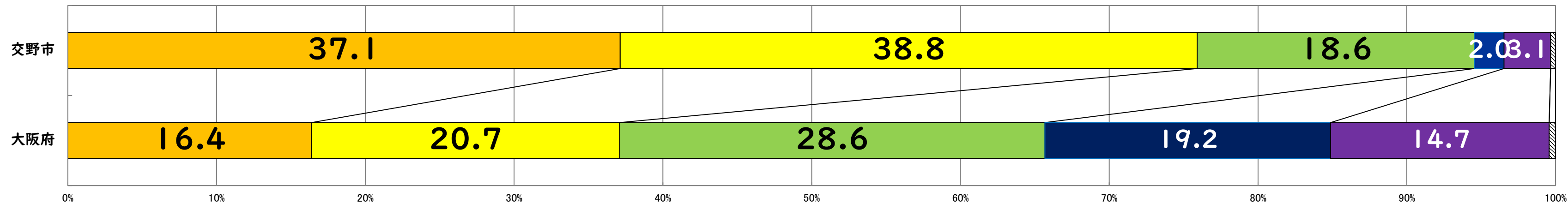
1年生



2年生



3年生

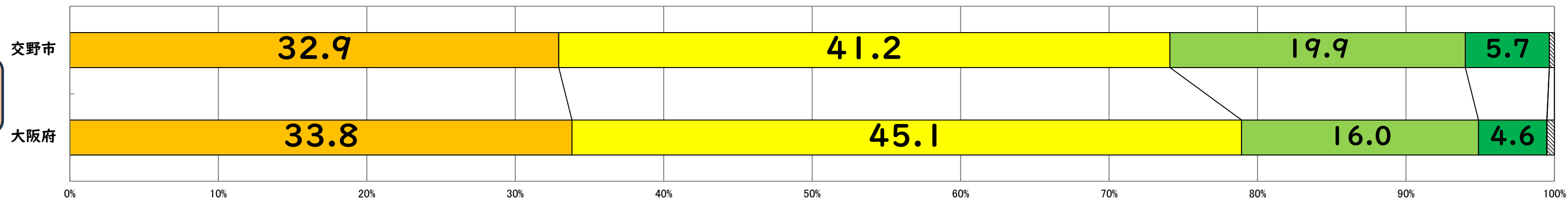


アンケート調査結果より

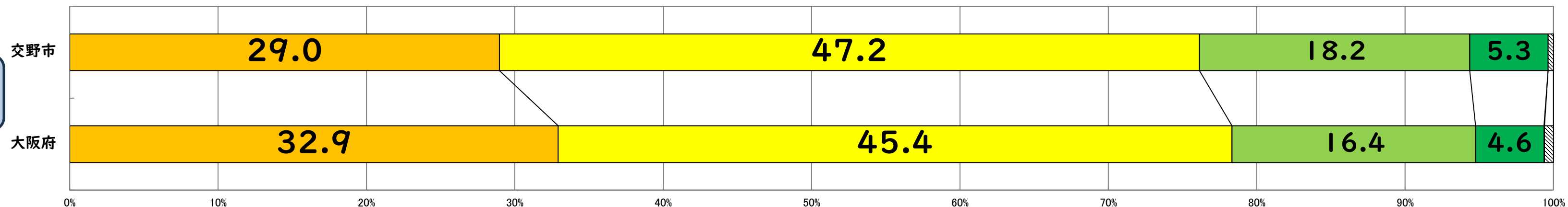
難しいことがあっても、あきらめない。

■ 1. 当てはまる ■ 2. どちらかといえば、当てはまる ■ 3. どちらかといえば、当てはまらない ■ 4. 当てはまらない □ その他 ▨ 無回答

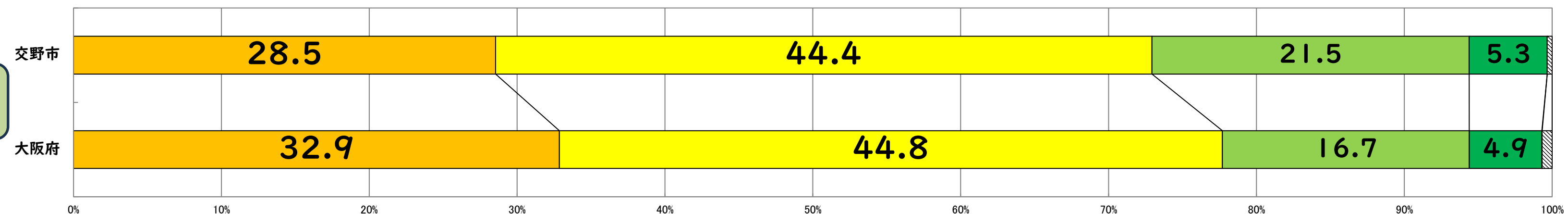
1年生



2年生



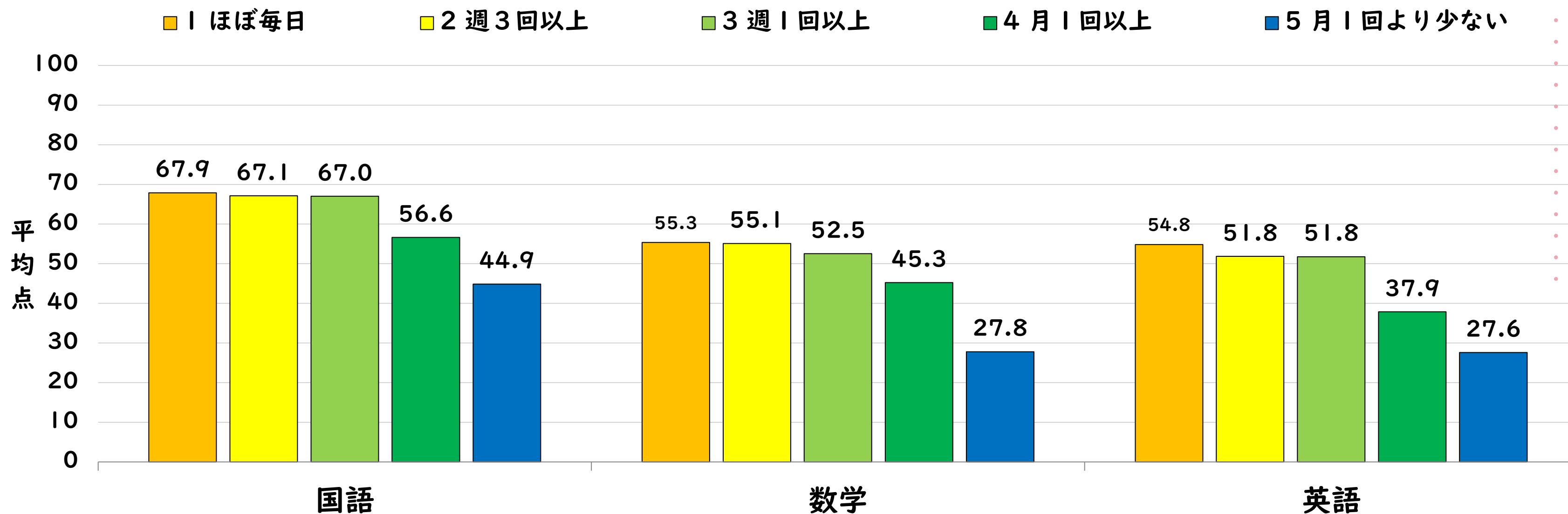
3年生



クロス集計(質問紙回答×教科の得点率)より

2年生

授業中、PC・タブレットを使って、学級の友だちと意見を交換する場面はどれくらいありますか。

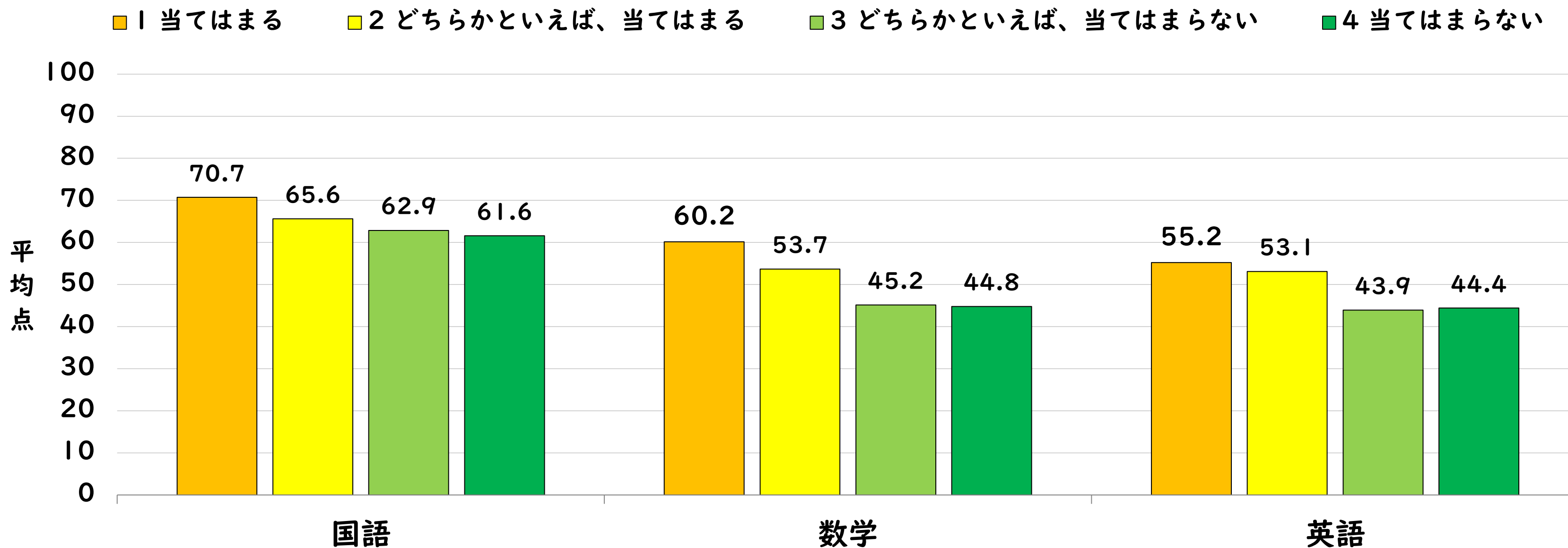


⇒授業中、PC・タブレットを使って、学級の友だちと意見を交換する場面が多いほど、平均点が高い。

クロス集計(質問紙回答×教科の得点率)より

2年生

難しいことがあっても、あきらめない

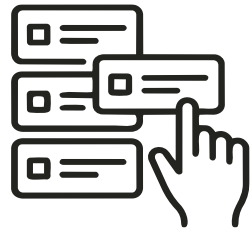


⇒難しいことがあってもあきらめずに粘り強く取り組む生徒は、平均点が高い。

「9年間教育」交野スタイル 共創～TEAM KATANOで希望をつなぐ～ 育成をめざす4つの力

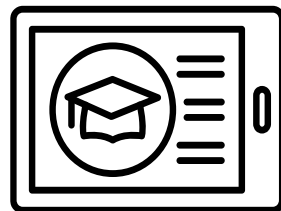
- 自己をみつめ、将来の目標に向かって進む力
- 自ら学ぶ力
- 各教科で求められる学力
- 人とつながる力

チャレンジテストの結果を踏まえた授業改善の視点



視点① 情報を読み取る力・要点を捉える力の向上

- ・ 課題に対して教科書等の文章やグラフ、図表等から自分で必要な情報を選択し、ノートなどに要点をまとめる
- ・ 新聞や図書資料等いろいろなメディアに触れ、それぞれの特徴や良さをふまえて情報を選択する など



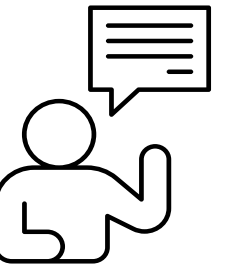
視点③ ICTの効果的な活用

- ・ 思考ツール等を使って自分の考えを整理したり、まとめたりする
- ・ 友だちと考えを比べたり、比べたことから自分の考えを再度整理したりまとめたりする など

「主体的・対話的で深い学び」の実現
を一体的に充実させた
「個別最適な学び」と「協働的な学び」

視点② 根拠をもとに説明する力の向上

- ・ 子どもたちが自分の考えを表現したくなる「問い」を精選する
- ・ 自分の考えを表現する際に「なぜなら」と理由を明確にして説明する など



視点④ 家庭学習の充実

- ・ 単元のゴールに向けて、自分の得意や苦手に応じて主体的に計画を立て学習に取り組む
- ・ デジタル教材やAI等も効果的に活用し、自身の学習状況に応じた反復学習や予習・復習に取り組む など

